

令和8年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	家庭	ファッション造形	3年次以降	2	なし	なし
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> ・デザインや着用目的に応じたより高度なファッション造形について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ・ファッション造形に関する課題を発見し、ファッション製品の製作を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・衣生活の充実向上と創造性豊かな作品の製作を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 				
学期	月	単元	学習内容	到達度目標(学習のねらい)		
前期	4月	ファッション造形の要素	デザイン 構成技法 材料 縫製	<ul style="list-style-type: none"> ・静止状態だけでなく、動作時のゆとり(機能性)を考慮した設計の重要性を理解する。 ・デザインに合わせた素材のドレープ性や、耐久性を判断できる。 ・見た目には見えない内部構造(芯地や肩パット等)が、衣服の完成度を左右することを理解する。 		
	5月	和服の製作	材料の選択 裁断 縫製 仕上げ 着装製作	<ul style="list-style-type: none"> ・着用目的、着用者の個性、季節にふさわしい材質、色、柄などを考慮して材料の選択ができる。 		
	6月			<ul style="list-style-type: none"> ・人体寸法からでき上がり寸法を割り出す方法と裁ち切り寸法の決め方、適切な見積りと能率的な裁ち方を理解する。 		
	7月			<ul style="list-style-type: none"> ・布地に応じた糸と針の選択、針目、縫い方、縫い代の始末など、縫製に関する基礎的な事項を理解する。 		
	9月			<ul style="list-style-type: none"> ・布地や作品に応じた適切な仕上げ方やたたみ方ができる。 ・着用目的と場所にふさわしい着装について理解する。 		
後期	10月	洋服の製作	デザインの選定 材料の選択と取扱い 裁断 仮縫いと補正 縫製 仕上げ 着装	<ul style="list-style-type: none"> ・着用目的、着用者の個性、流行などを考慮することができる。 ・性能、材質、色、柄などを考慮して選択し、取り扱うことができる。 		
	11月			<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション画のイメージやデザインに応じた型紙の作成について扱う。その際、必要に応じて、立体裁断や平面製図の特徴を生かした表現ができるよう指導を工夫する。 		
	12月			<ul style="list-style-type: none"> ・着心地のよい洋服を製作するための仮縫いと補正について理解する。 ・布地に適合した糸と針を選択し、針目、縫い方、縫い代の始末など縫製に関する基礎的な事項を理解する。 ・布地や作品に応じた適切な仕上げができる。 ・着用目的と場所にふさわしい着装について理解する。 		
	1月	総合実習	着装	<ul style="list-style-type: none"> ・チームワークの重要性や責任感を理解し、ものづくりの喜びを感じることができる。 		
2月						